

エクシオグループ株式会社の概要

2023.7



1. 会社紹介

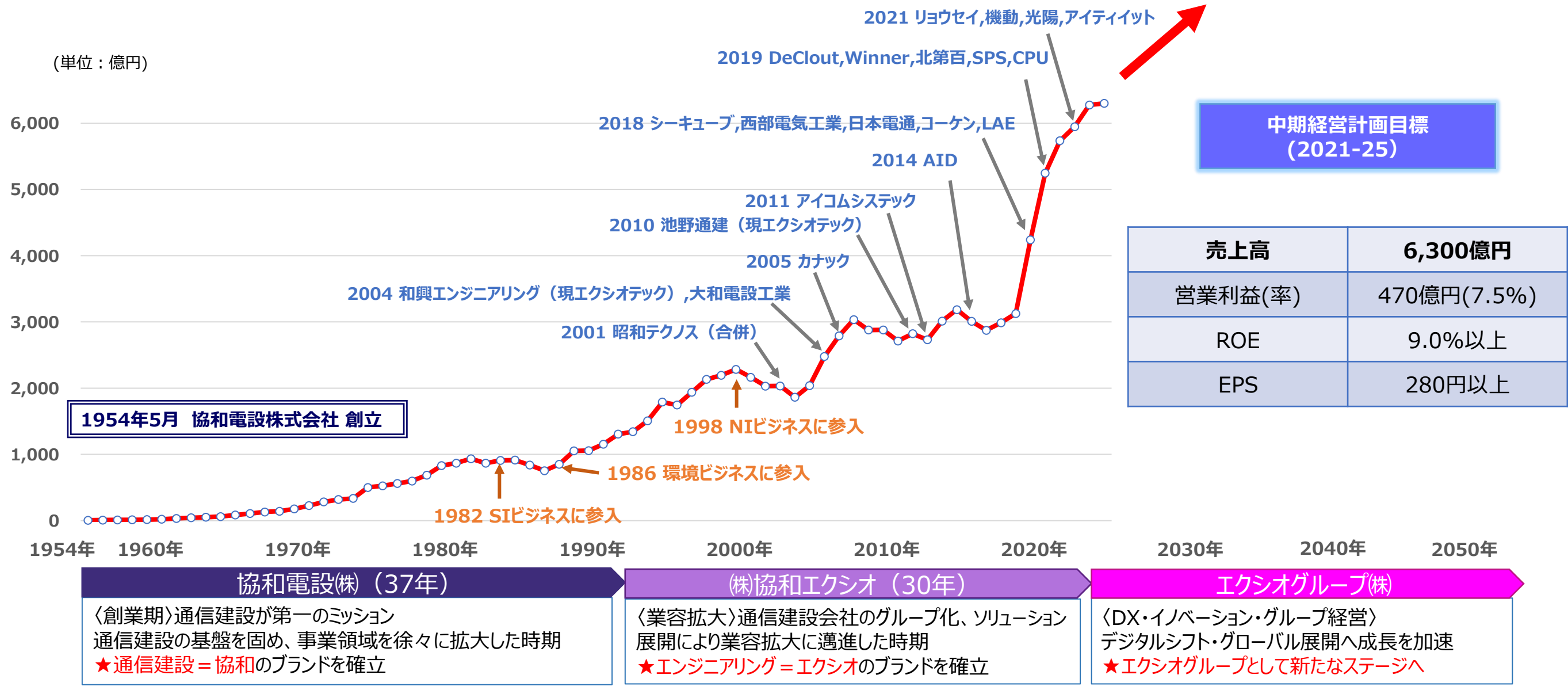
(1) 会社概要（2023年3月31日現在）

創 立	1954年（昭和29年）5月17日
代 表 者	代表取締役社長 舩橋 哲也
資 本 金	68億88百万円
上場取引所	東証プライム上場（コード 1951） 売買単位 100株
株 式	発行済株式の総数 109,812,419株 株主数 35,114名
連結売上高	6,276億円（2023年3月期）
格 付	株式会社日本格付研究所（JCR） A+（安定的）
連結従業員数	16,772名
本 社	東京都渋谷区渋谷3丁目29番20号
事 業 所	支店 12 営業所 23
連結子会社	135社
決 算 日	3月31日

1. 会社紹介

(2) 沿革

■ 連結売上高の推移 注) 1991年度以前は単独売上高



1. 会社紹介

(3) ビジョンとパーパス

2030ビジョン

Engineering for Fusion
～社会を繋ぐエンジニアリングをすべての未来へ～

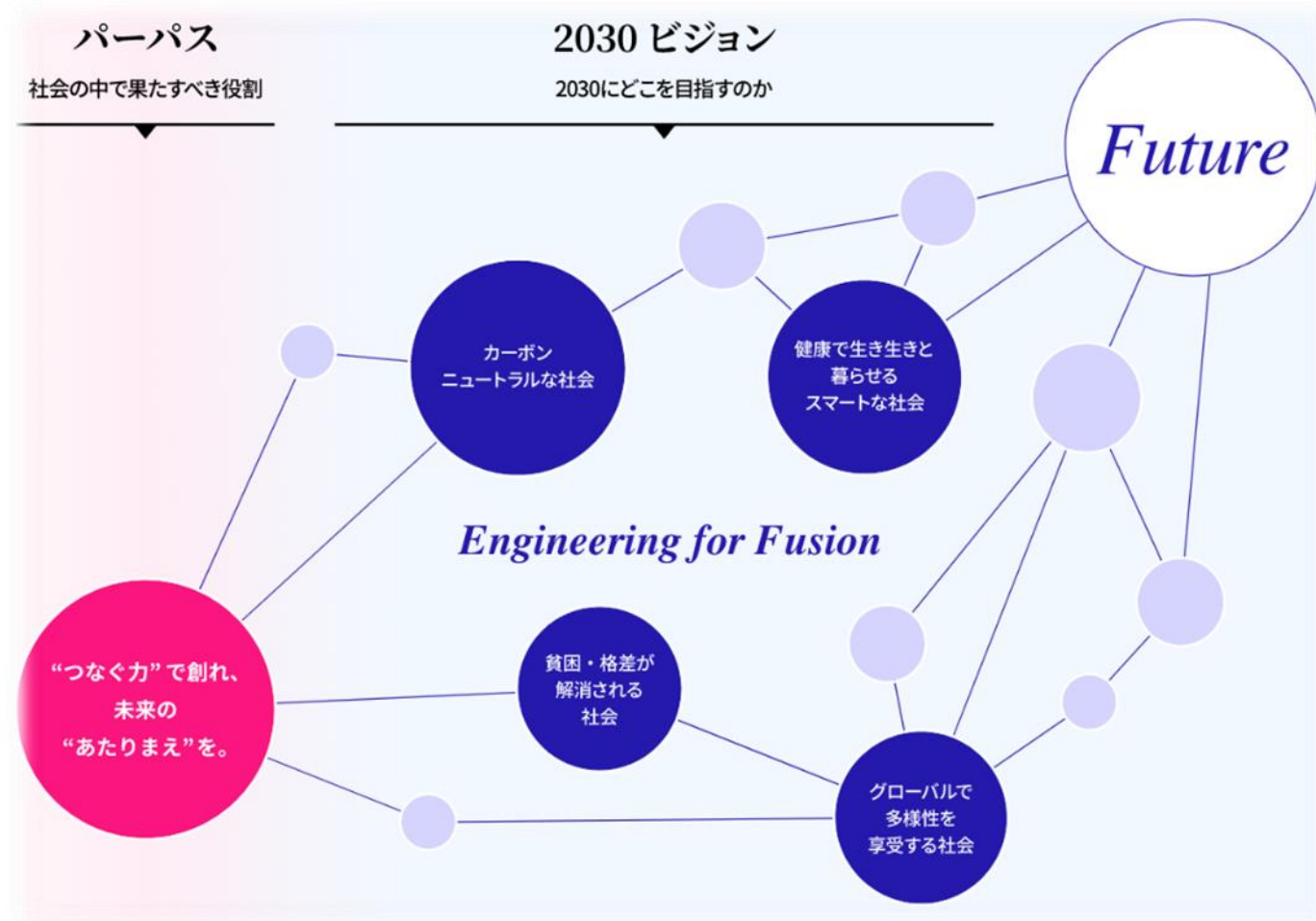
グループパーパス

“つなぐ力”で創れ、未来の“あたりまえ”を。

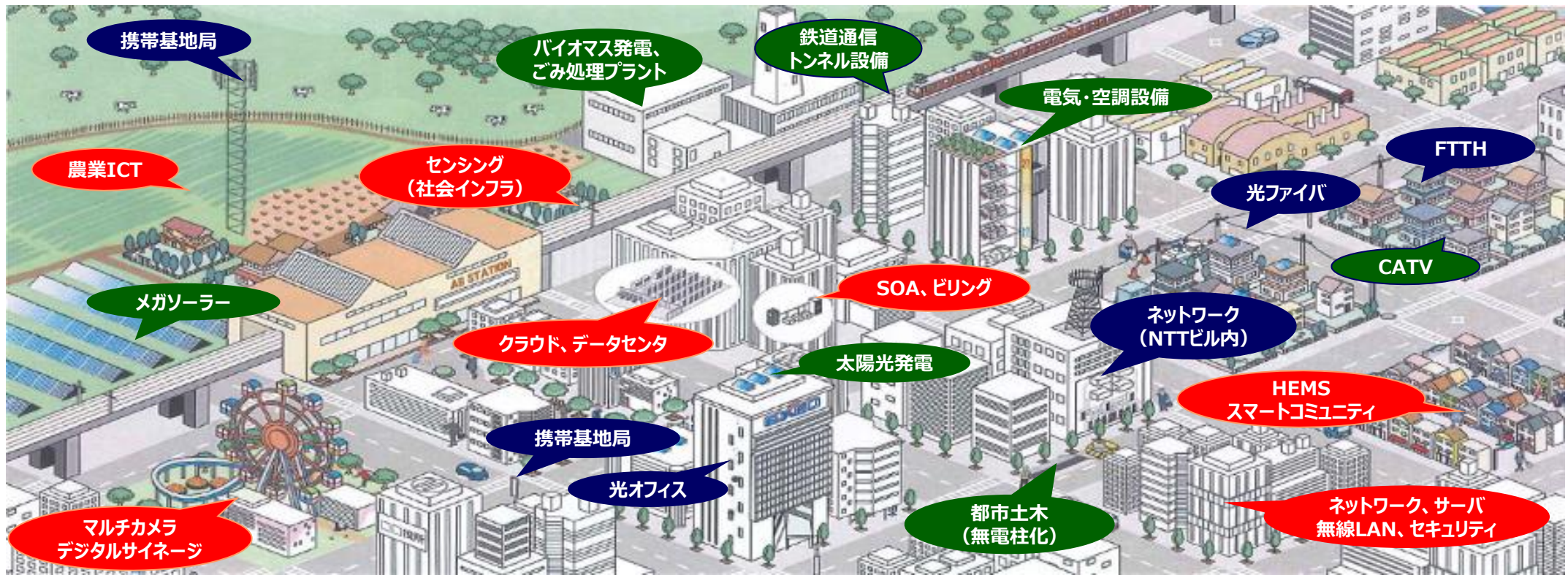
生活を支えるインフラを、地域や世代を超えた全ての人々が当たり前に使えて、
自由に幸せを追求する事が出来る。

それこそが、エクシオグループがめざす豊かな世界です。

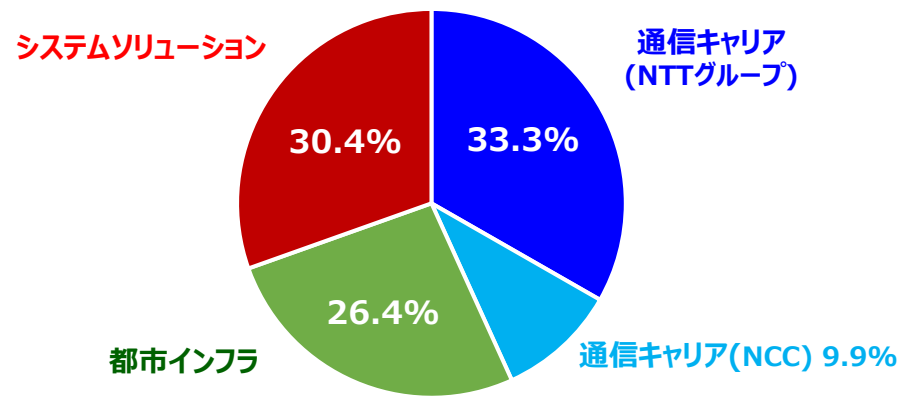
技術の研鑽と、ハードからデジタルに至る知見をつないで、
目まぐるしく変化する社会に、
パートナーの皆様と、新しい“あたりまえ”を創り続けていきます。



(4) 事業概要



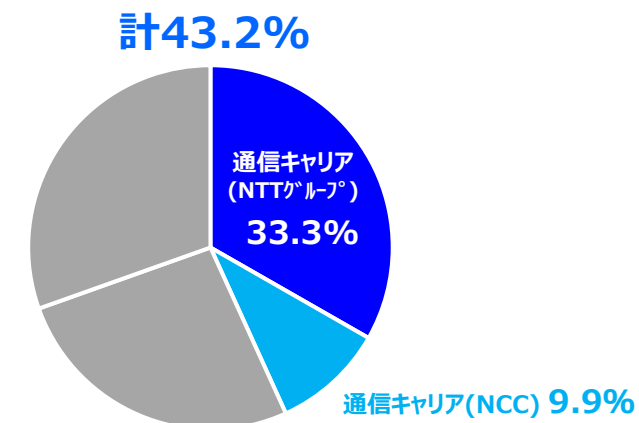
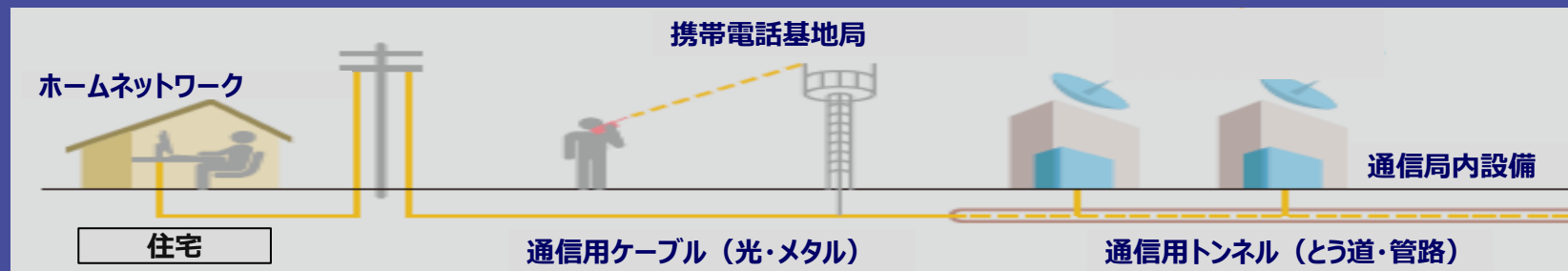
セグメント			売上高 (2023年3月期連結)
エンジニアリング ソリューション	通信キャリア	NTTグループ	2,088億円
		NCC	623億円
	都市インフラ		1,653億円
システムソリューション			1,910億円
合 計			6,276億円



(4) 事業概要－通信キャリア

◆ 創立以来、半世紀以上にわたって培ってきた当社のコア事業

- ・NTTグループ … NTTグループ各社の各種通信インフラ設備の構築・保守
- ・NCC … KDDI、ソフトバンク、楽天向けの各種通信インフラ設備の構築・保守



1. 会社紹介

(4) 事業概要－都市インフラ

◆ 通信キャリアで培った通信・電気・土木技術を活かし、暮らしやすい社会の実現に貢献

- ・無電柱化や非開削トンネル工事を行う都市土木工事
- ・自治体、官公庁、CATV会社、鉄道会社、民間企業向けの各種通信インフラ設備の構築・保守
- ・オフィスビル、データセンター、マンション等の電気・空調工事
- ・太陽光発電、バイオマスボイラ等の再生可能エネルギー関連工事
- ・廃棄物処理プラント等の建設工事・運転維持管理



無電柱化工事



非開削トンネル工事



地下設備メンテナンス工事



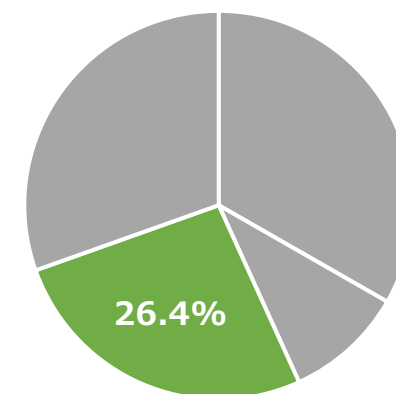
オフィスビルの電気通信工事



太陽光発電



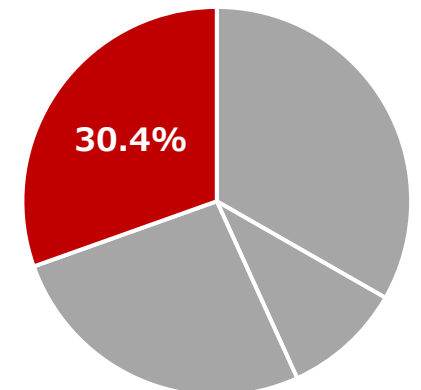
廃棄物処理施設の建設・運営



(4) 事業概要－システムソリューション

◆ SI、NI分野でICTを活用したトータルソリューションを提供

- | | | |
|----------------------|---|--|
| ・システムインテグレーション（SI） | … | 公共、通信、製造、金融分野の大規模受託開発の提供
ビジネスプロセス変革や業務支援ソリューションの提供 |
| ・ネットワークインテグレーション（NI） | … | サーバ、無線LAN、セキュリティ、クラウド、G空間、EMS、
センシング等のネットワークソリューション・サービスの提供 |
| ・グローバル | … | 海外の各種通信インフラ設備の構築・保守、ネットワーク
ソリューションサービスの提供 |



(5) グループ体制と拠点

■ グループ体制（2023.3.31現在）

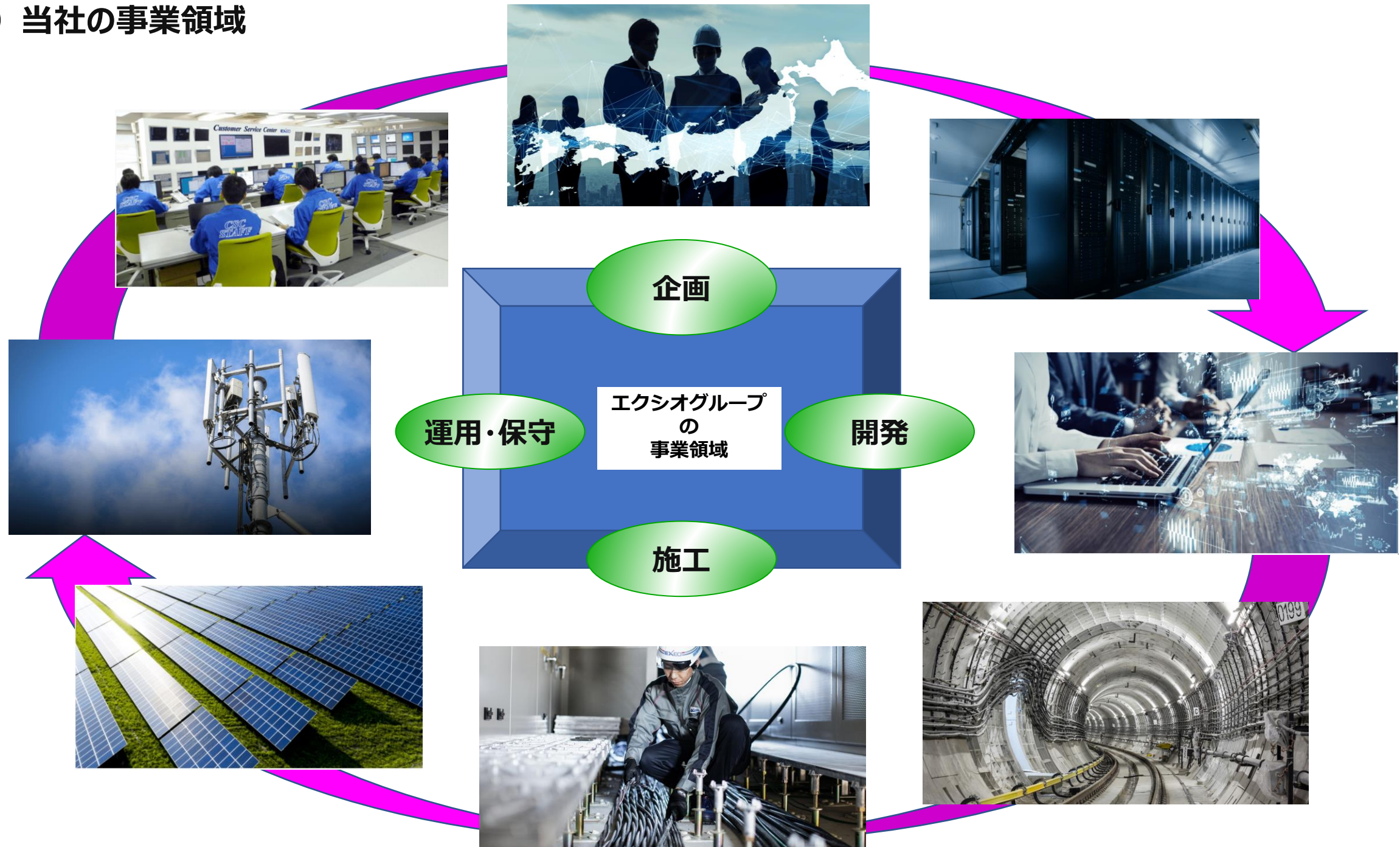
主要子会社（5社）	
シーキューブ	西部電気工業
日本電通	
エクシオテック	大和電設工業
その他の連結子会社（130社） 以下は主な会社	
通信 キャリア系	エクシオ・エンジニアリング北海道、エクシオ・エンジニアリング東北 エクシオ・エンジニアリング西日本、新栄通信、サンクレックス、 カナック、光プログレス、ケイ・テクノス、エクシオモバイル、 電盛社、北第百通信電気
都市 インフラ系	エクシオインフラ、コーケン、リョウセイ 機動建設工業、光陽エンジニアリング、サンエツ イセキ開発工機、大国屋電機工業、永和ビルテック
システム ソリューション系	EDS、ESM、AID、WHERE、エクシオ・コアイノベーション サン・プランニング・システムズ、シーピーユー
グローバル	EXEO GLOBAL、DeClout、Leng Aik Engineering、 Winner Engineering、MG EXEO NETWORK、Proccri

■ 拠点



1. 会社紹介

(6) 当社の事業領域

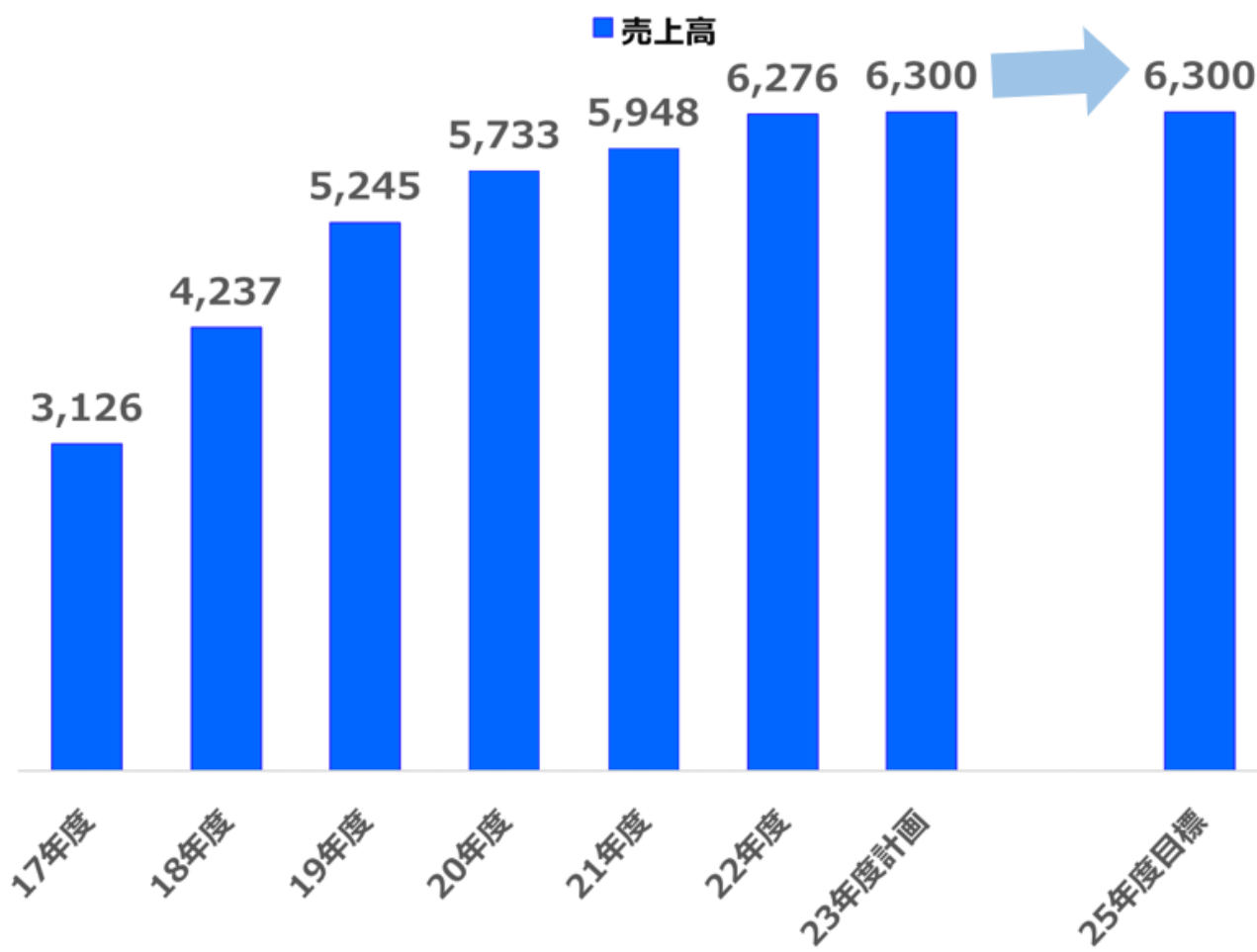




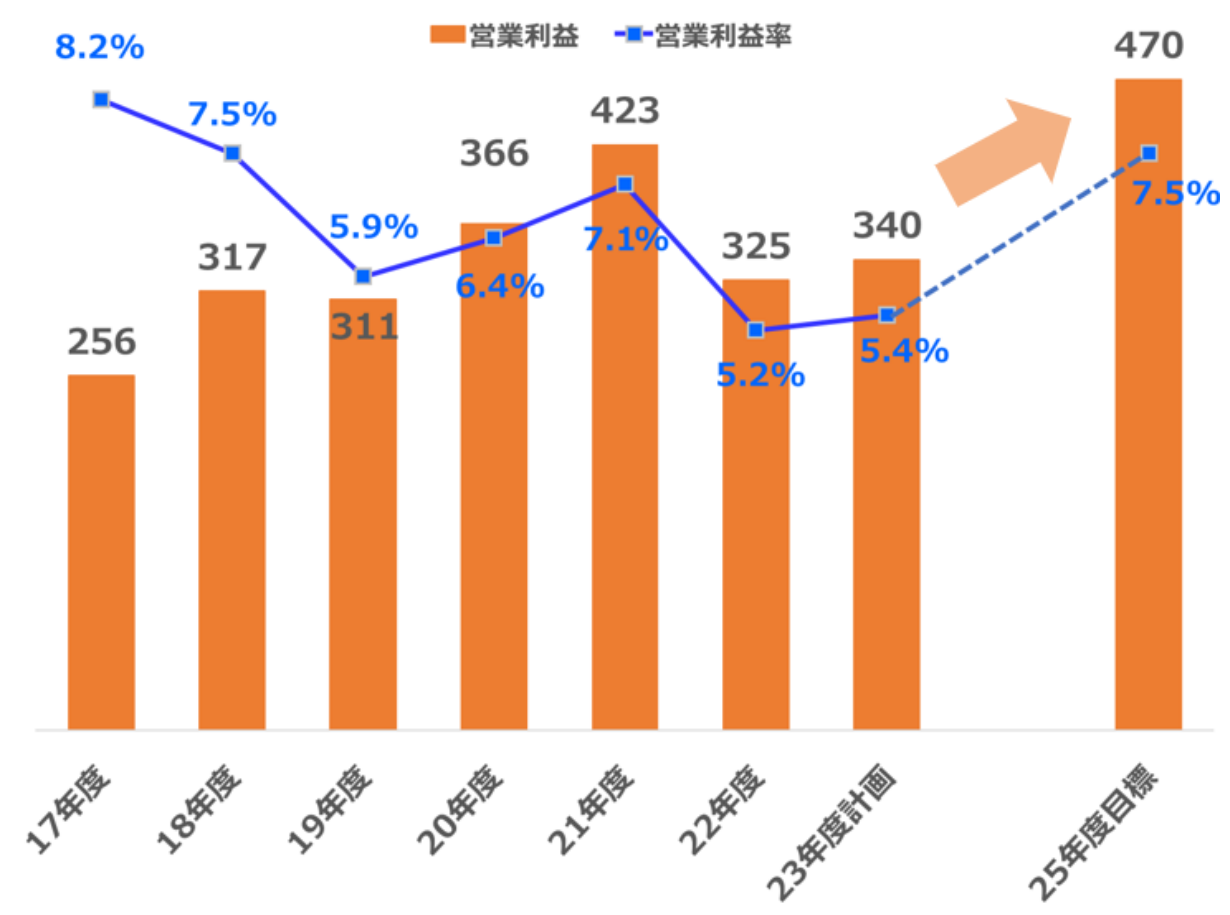
1. 会社紹介

(7) 近年の業績推移

(単位：億円)



(単位：億円)



2. 2030ビジョンと中期経営計画

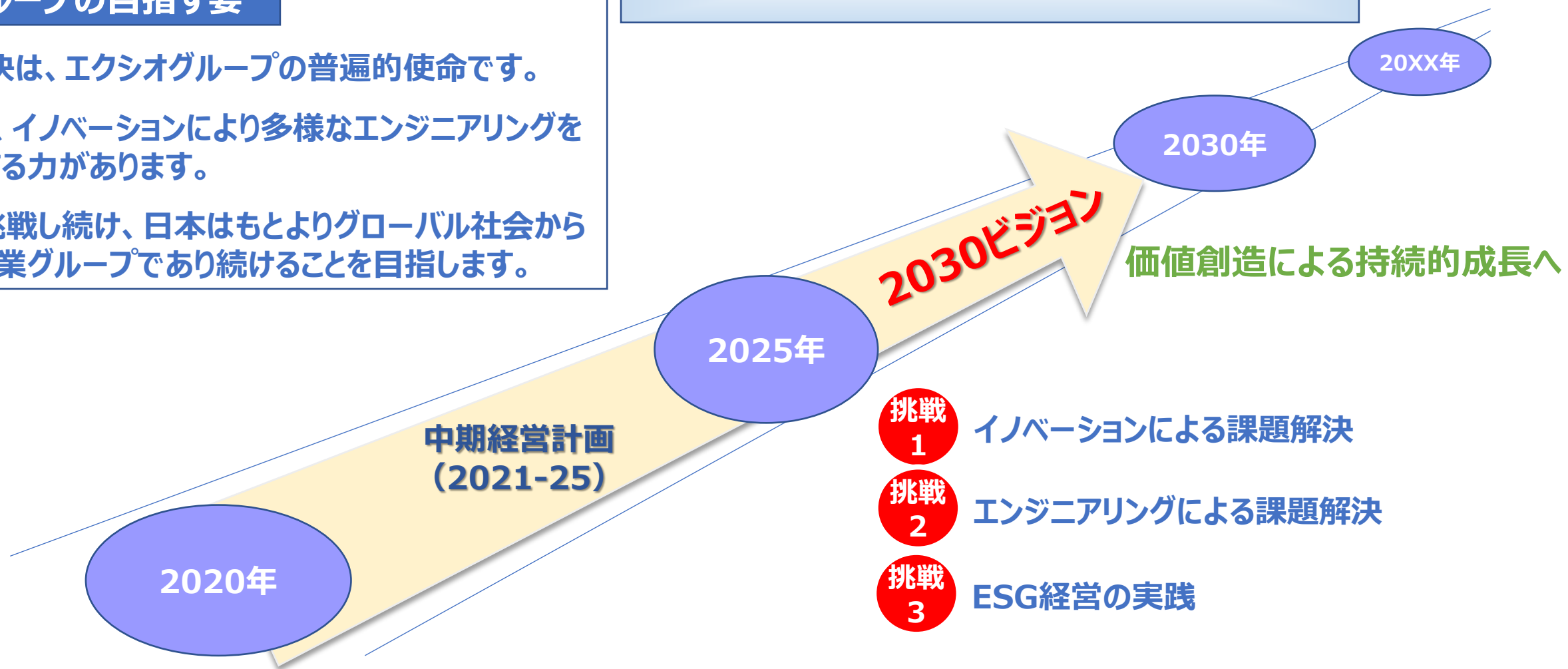
(1) 2030ビジョンについて

エクシオグループの目指す姿

- ・社会課題の解決は、エクシオグループの普遍的使命です。
- ・当グループには、イノベーションにより多様なエンジニアリングをつないで融合する力があります。
- ・わたしたちは、挑戦し続け、日本はもとよりグローバル社会から必要とされる企業グループであり続けることを目指します。

2030ビジョン

Engineering for Fusion
～社会を繋ぐエンジニアリングをすべての未来へ～



2. 2030ビジョンと中期経営計画

(2) 大きな変革の時代へ

世界中の社会・経済で大きな変革が起きている。

新型コロナにより世界中が未曾有の危機に陥る中で、ダイバーシティや人種問題など人権に対する意識は更に高まり、環境問題は人類共通の課題として目の前に広がっている。そのような中、技術革新はあらゆるビジネスを根本から変える力を持ち、衰退するビジネスがある一方で、新たなサービスが短期間かつグローバルレベルで拡大することも可能になってきた。SDGsが広く浸透するなど世界が直面する課題に対し、社会の意識が変化している。

◆ 社会の課題

環境破壊・資源の枯渇

- CO₂排出による地球温暖化、気候変動
- マイクロプラスチックによる生態系への影響
- 経済成長に伴う資源の枯渇

インフラ老朽化・自然の脅威

- 老朽化した社会インフラの更改・更新
- 多発する自然災害への備え
- 新型コロナによるニューノーマルへの対応

人口減少による過疎化・空洞化

- 少子高齢化、生産年齢人口減少の顕在化
- 地方の過疎化、高齢化の進展
- 市街地の空洞化による都市の衰退

◆ 産業・社会の変化

急速な技術革新

- 5Gから6Gへなどの情報通信技術の進展
- AI、ロボティクス技術による日常の変化
- DXによる新たな社会の兆し（Society5.0）

モノからコトへサービスの変化

- XaaSなど、所有から利用へサービスの変化
- デジタルによる付加価値の提供
- ビジネスモデルの変化による新たな事業創出

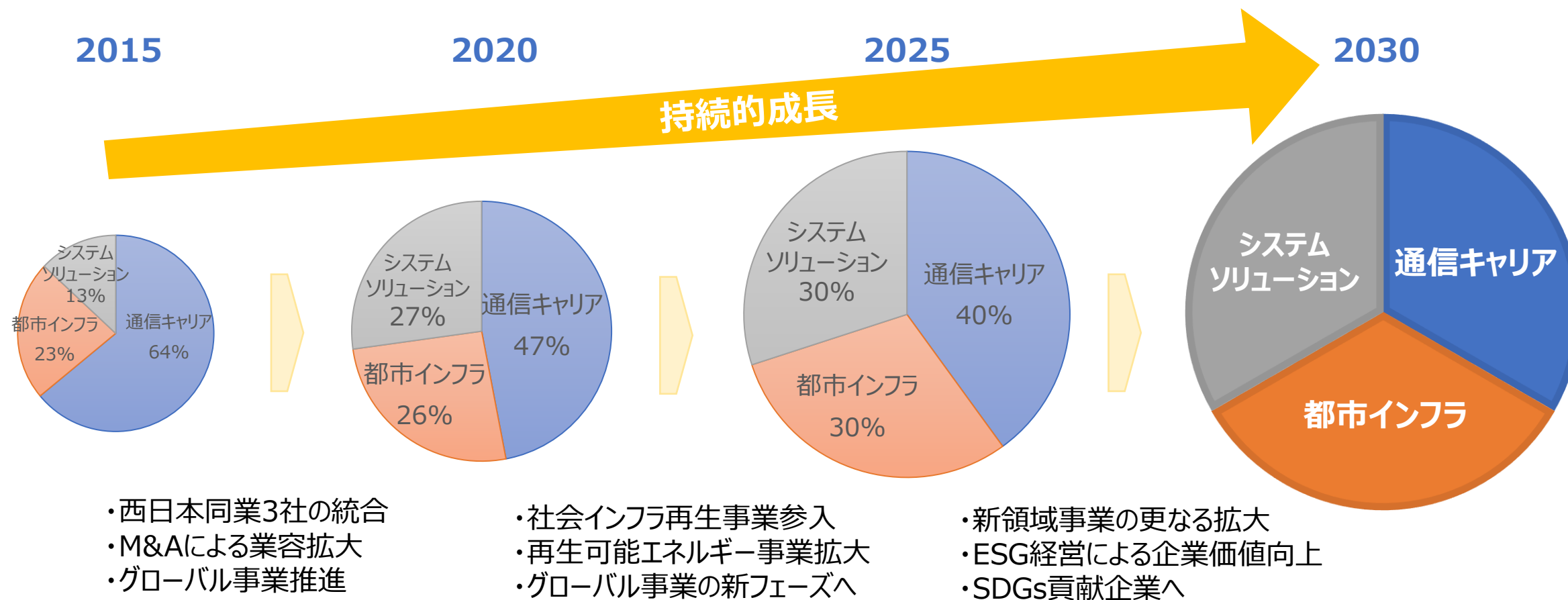
社会の意識の変化

- LGBTQなど人権に対する意識向上
- ダイバーシティ&インクルージョンの進展
- SDGs、ESGは必須の指標

2. 2030ビジョンと中期経営計画

(3) 2030年に目指すポートフォリオ

景気や社会情勢に左右されない強固な経営基盤を構築するため、都市インフラおよびシステムソリューション事業を更に拡大し、2030年度の各セグメントの売上高を同等程度にまで成長させる。



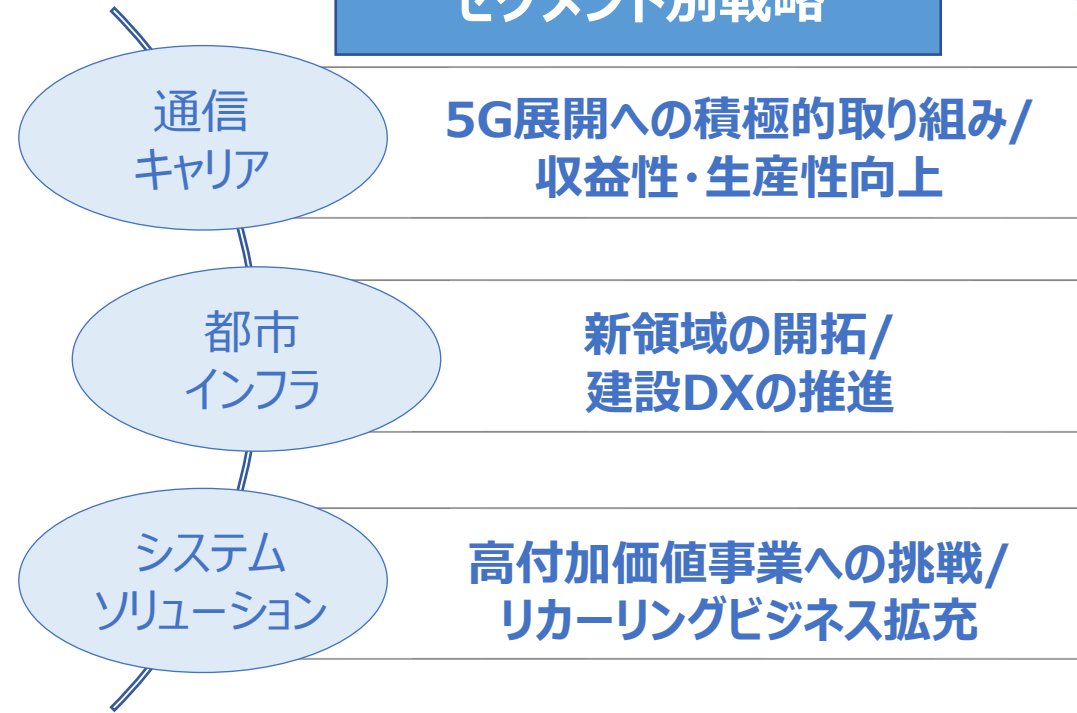
2. 2030ビジョンと中期経営計画

(4) 中期経営計画の目標

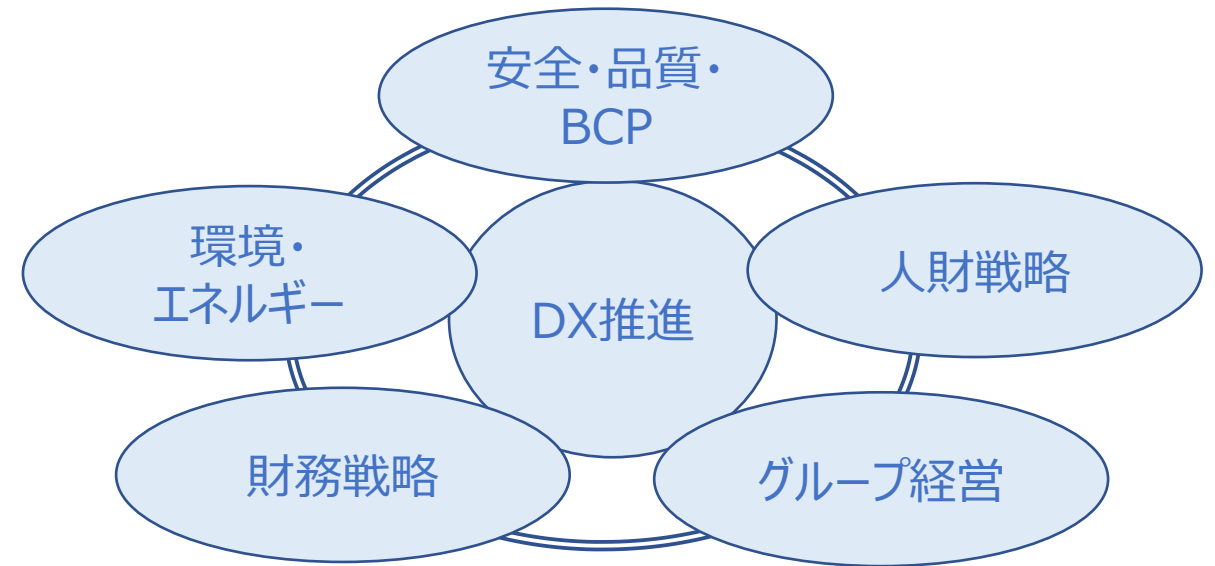
2025年度 業績目標

- ・ 売上高 6,300億円
- ・ ROE 9.0%以上
- ・ 営業利益 470億円 (7.5%)
- ・ EPS 280円以上

セグメント別戦略

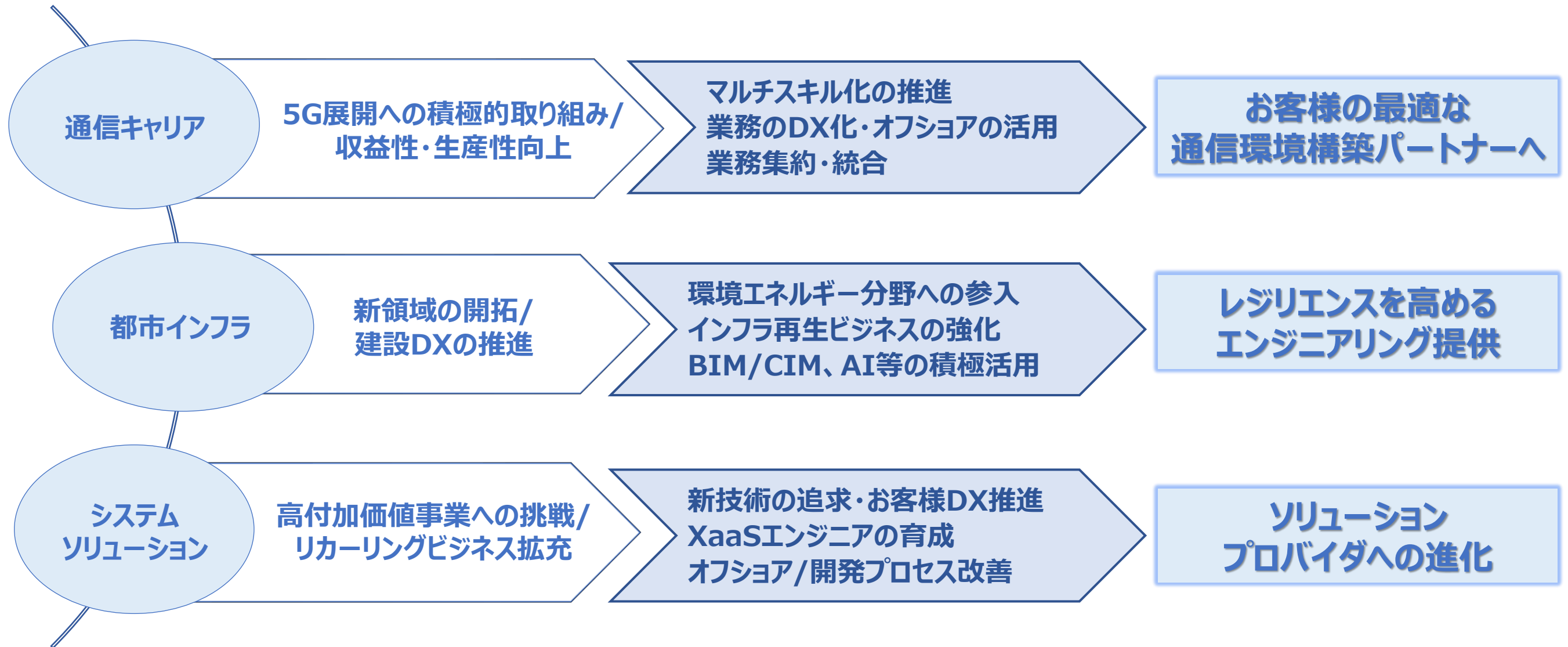


経営基盤



2. 2030ビジョンと中期経営計画

(5) セグメント別戦略



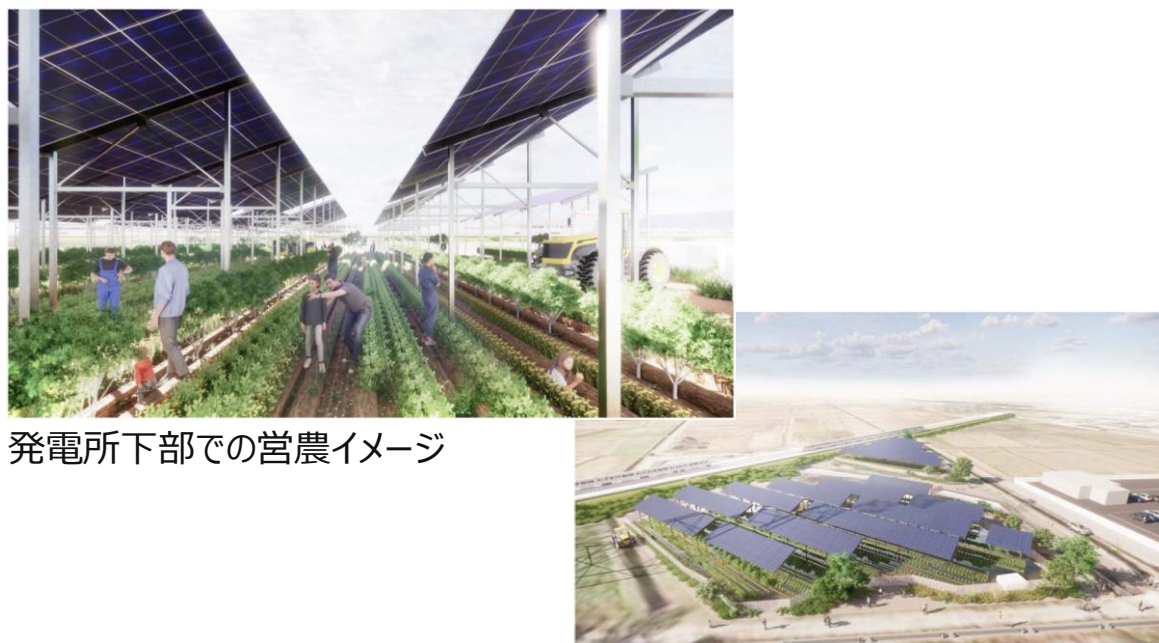
2. 2030ビジョンと中期経営計画

(6) 取組み状況（都市インフラ：エネルギー）

社会的意義の高まる新たなエネルギー事業（再生可能エネルギー・スマートエネルギー）の更なる拡大を目指す（太陽光・洋上風力・バイオマスガス化発電など）

■ 営農型太陽光発電施設への取り組み

東急不動産様と共に、埼玉県東松山市にてソーラーシェア（営農型発電）を中心とした再生可能エネルギーの実証施設『リエネソーラーファーム東松山』を建設



発電所下部での営農イメージ

完成予想図

■ 直流給電設備構築

NTTアノードエナジー様と金沢工業大学様がキャンパス内に太陽光発電設備と蓄電池を設置、発電した電気を直流のまま各設備に供給



(出典：NTTアノードエナジーNews Release)

2. 2030ビジョンと中期経営計画

(6) 取組み状況（都市インフラ：土木）

シールド・推進技術を強化し、難易度の高い工事へも挑戦

■ 新工法開発の取り組み



マリンシャトル工法

《 海底ケーブル陸揚げ部を鋼管Φ600mm～延長200m程度まで施工可能 》

特許出願中 NO-DIG AWARD 2016 受賞

泥水式推進工法により小口径管での長距離水中到達を実現

マリンシャトル手順

1. 発進立坑から海中の到達位置まで推進
2. 掘進機一次戻し(カッターヘッドを縮径)
3. ダイバーにより掘進機先端部に閉塞筒を設置
4. 掘進機を発進立坑までを引き戻す
5. 閉塞筒は、ケーブル引き込みまで設置

※鋼管内には海水等を入れない施工が可能。

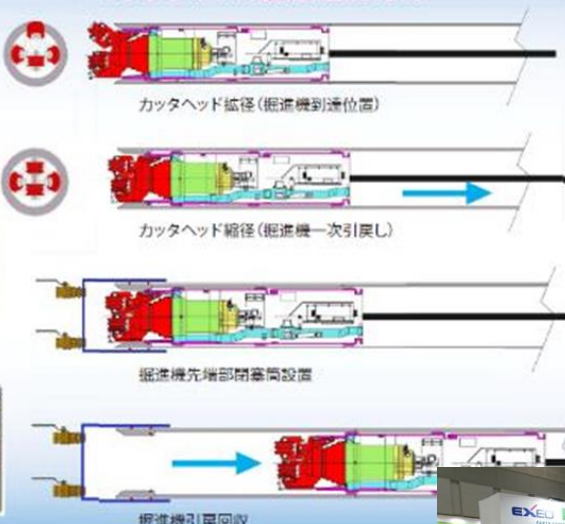
マリンシャトル掘進機回収手順

1. カッターヘッド縮径(掘進機到達位置)
2. カッターヘッド縮径(掘進機一次戻し)
3. 掘進機先端部閉塞筒設置
4. 掘進機引き戻し回収

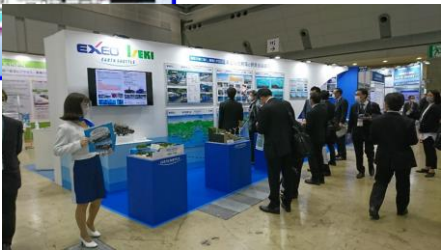
海上 発進立坑

カッターヘッド縮径・掘進機回収システム





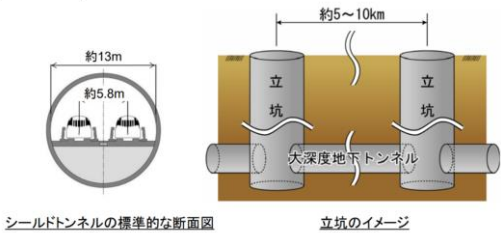
イセキ開発工機（2022年4月当社のグループ会社）と共同開発した短距離陸揚げ推進工法。第10回国際風力発電展にも出展。



■ 高難度工事への挑戦

中央新幹線第一中京圏トンネル新設(坂下東工区)工事の契約について

工 事 名	中央新幹線第一中京圏トンネル新設(坂下東工区)
請 負 業 者	中央新幹線第一中京圏トンネル新設(坂下東工区)工事共同企業体 (代表構成員 五洋建設株式会社) (構成員 エクシオグループ株式会社)
工 事 場 所	愛知県春日井市坂下町から神屋町の間
工 事 区 分	土木(設計・施工一括)
工 事 概 要	シールドトンネル工事
契 約 締 結 日	2021年11月8日
工 期	契約締結の翌日から2026年12月25日まで



(出典：JR東海ホームページ)

以上

土被り最大60mとなる大深度地下を約2.2km掘進する
難易度の高い工事。シールドの最高実績の獲得へ

2. 2030ビジョンと中期経営計画

(6) 取組み状況（システムソリューション）

システムソリューション事業を牽引する戦略会社2社(エクシオ・デジタルソリューションズ / エクシオ・システムマネジメント)を4月に設立。お客さまDXの実現に向け、フルレイヤでコンサル提案から開発・構築、保守運用まで一気通貫でご支援



2. 2030ビジョンと中期経営計画

(7) ESG目標

	取組課題	2025年度KPI	関連するSDGs項目
Environment (環境)	■ 再生可能エネルギーへのシフト ■ 脱炭素、脱CO₂の取り組み ■ 資源循環型社会への貢献 ■ 環境に優しいグリーン製品活用	■ 再エネ由来電力購入（自社管理拠点） 100% ■ EVなど低公害車導入率（一般車両） 100% ■ CO₂排出量（2030年度KPI） - Scope1・2 20年度比42%減 - Scope3 20年度比25%減 ■ 産業廃棄物最終処分率 20年度比50%減 ■ グリーン製品利用率 65%	     
Social (社会)	■ 事業の安全・品質の確保 ■ ダイバーシティ&インクルージョンの推進 ■ 働き方改革の推進	■ 重大人身事故・重大設備事故ゼロを目指す ■ 女性管理職の人数 20年度末比1.5倍 ■ 女性社員の人数 20年度末比25%増 ■ 男性の育児休暇取得率 20%	     
Governance (ガバナンス)	■ 透明性の高いマネジメントの実現 ■ コンプライアンスの徹底 ■ リスクマネジメントの徹底	■ 重大な法令違反 ゼロを目指す ■ 重大な情報セキュリティ事故 ゼロを目指す ■ 重大な事業リスクを伴う 事案のリスク評価実施率 100%	   

(1) ESG経営の実践（環境）

SDGs実現への貢献に向け、気候変動対策への取り組みを加速

■TCFD提言への賛同、TCFDコンソーシアムへの加盟

⇒非財務情報を含めた情報開示を推進



■「サステナビリティ推進室」、「サステナビリティ委員会」の設置

■グループ全体で排出する温室効果ガス排出量の算定、削減目標の設定

⇒scope1,2については、2050年までにカーボンニュートラルをめざす。

区分	内容	排出量(t-CO ²) ※ 1	2030年度削減目標 ※ 2
Scope 1	事業者自らによる温室効果ガスの直接排出	60,400	▲42% 2050年度カーボンニュートラル
Scope 2	他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出	26,183	
Scope 3	サプライチェーンからの間接排出 (事業者の活動に関連する他社の排出)	1,728,553	▲25%

※1：排出量は2020年度数値 ※ 2：2020年度比

3. その他

(2) ESG経営の実践（外部評価）

社会・ガバナンス関係の取り組みも継続実施、外部評価も獲得

- **MSCI ジャパンESGセレクト・リーダーズ指数 採用銘柄**
MSCIが日本の時価総額上位700銘柄から、ESG評価に優れた企業を選別して構築

2022 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数

- **「D&I Award 2022」最上位「Best Workplace for Diversity & Inclusion」を受賞**
Job rainbowが策定した、企業の多様性推進を可視化する指標「ダイバーシティスコア」により認定



- **「PRIDE指標2022」にてシルバー認定を取得**
任意団体「work with Pride」が策定した、職場におけるLGBTQなどのセクシャル・マイノリティに関する取り組み評価指標



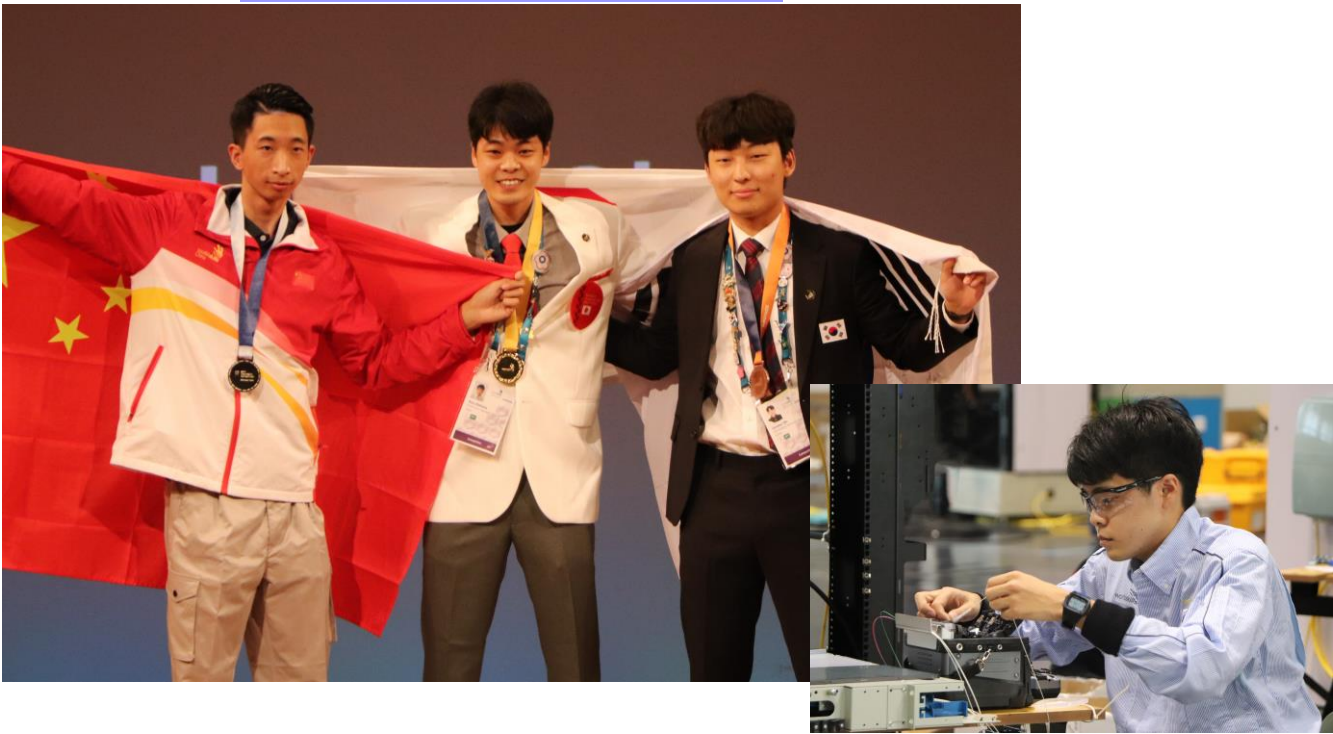
- **CDPから、気候変動に対する取り組みや情報開示が優れた企業として「B」評価認定**
CDP は、ロンドンに本部を置く環境評価の情報開示に国際的に取り組む非政府組織（NGO）で、企業の取り組みを8段階で評価する
「B」評価は上位から3番目



(3) 人財育成の取組み 技能五輪国際大会で金メダルを獲得

技能五輪国際大会（10/15～19：京都市）において、海老原社員が当社通算6個目となる金メダルを獲得！

第46回技能五輪国際大会
2022年10月@京都



当社社員の国際大会成績

	開催地	出場選手	成績
第38回 2005年	フィンランド ヘルシンキ	小湊 大輔	金メダル
第39回 2007年	日本 静岡	山口 雄基	金メダル
第40回 2009年	カナダ カルガリー	野瀬 茂紘	金メダル
第41回 2011年	イギリス ロンドン	森野 陽気	金メダル
第44回 2017年	アラブ首長国 アブダビ	清水 義晃	金メダル
第46回 2022年	日本 京都	海老原 徹	金メダル

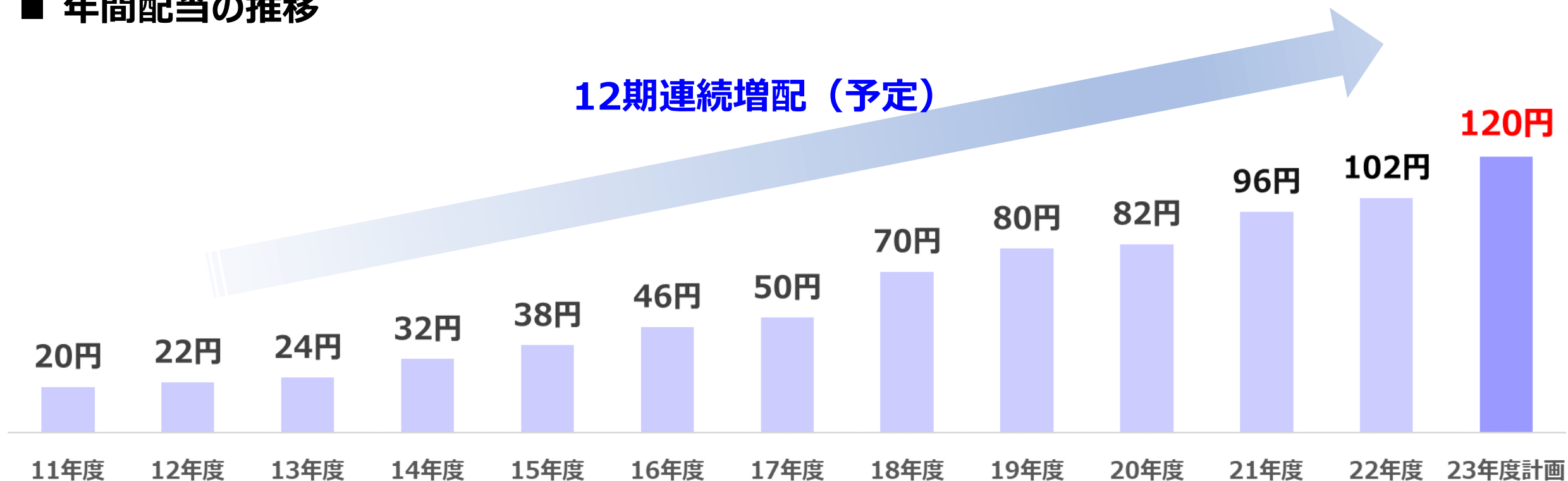
注：技能五輪国際大会は、幅広い職種の青年技能者（原則22歳以下（一部の職種は25歳以下））を対象とした唯一の世界レベルの技能競技大会で、今大会は61職種に989名の選手が参加 海老原社員が出場した“情報ネットワーク施工職種”は、光ファイバ融着接続のスピード競技やビル構内を想定した配線施工課題などを2日間で合計約8時間に及ぶ規定時間の中で競技する種目です。

3. その他

(4) 株主還元

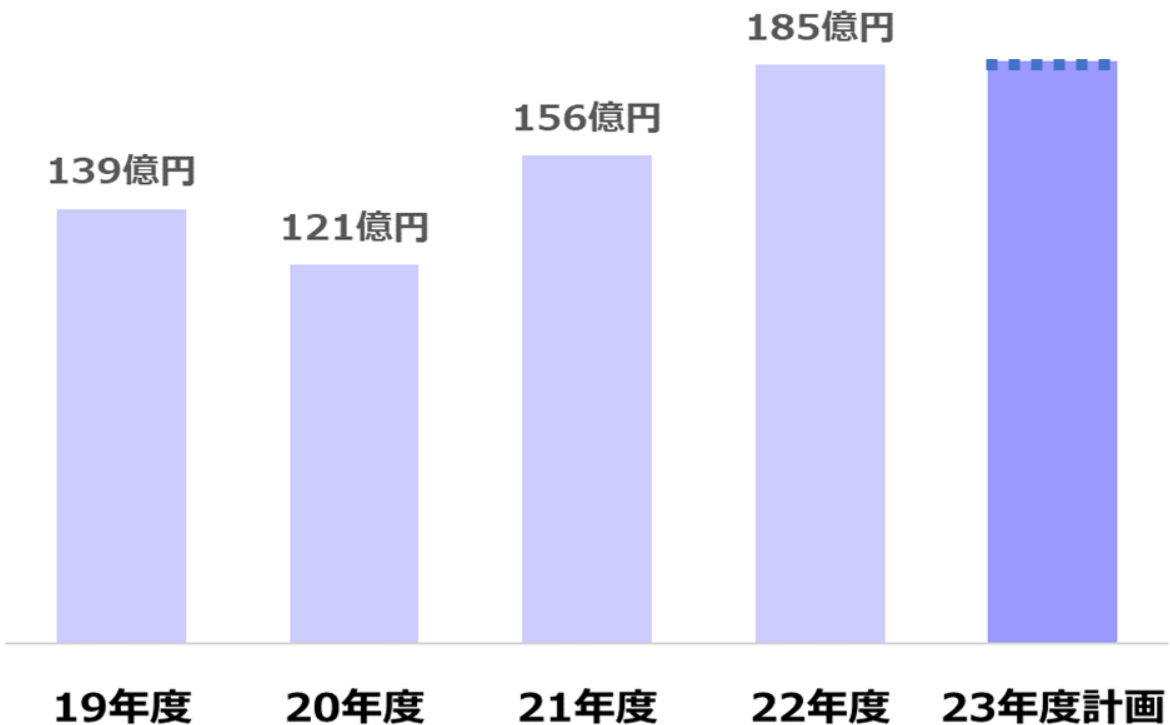
23年度より配当方針をDOE4.0%基準に変更し、12期連続増配を予定（23年度年間120円）
自己株式取得も継続的・機動的に実施

■ 年間配当の推移

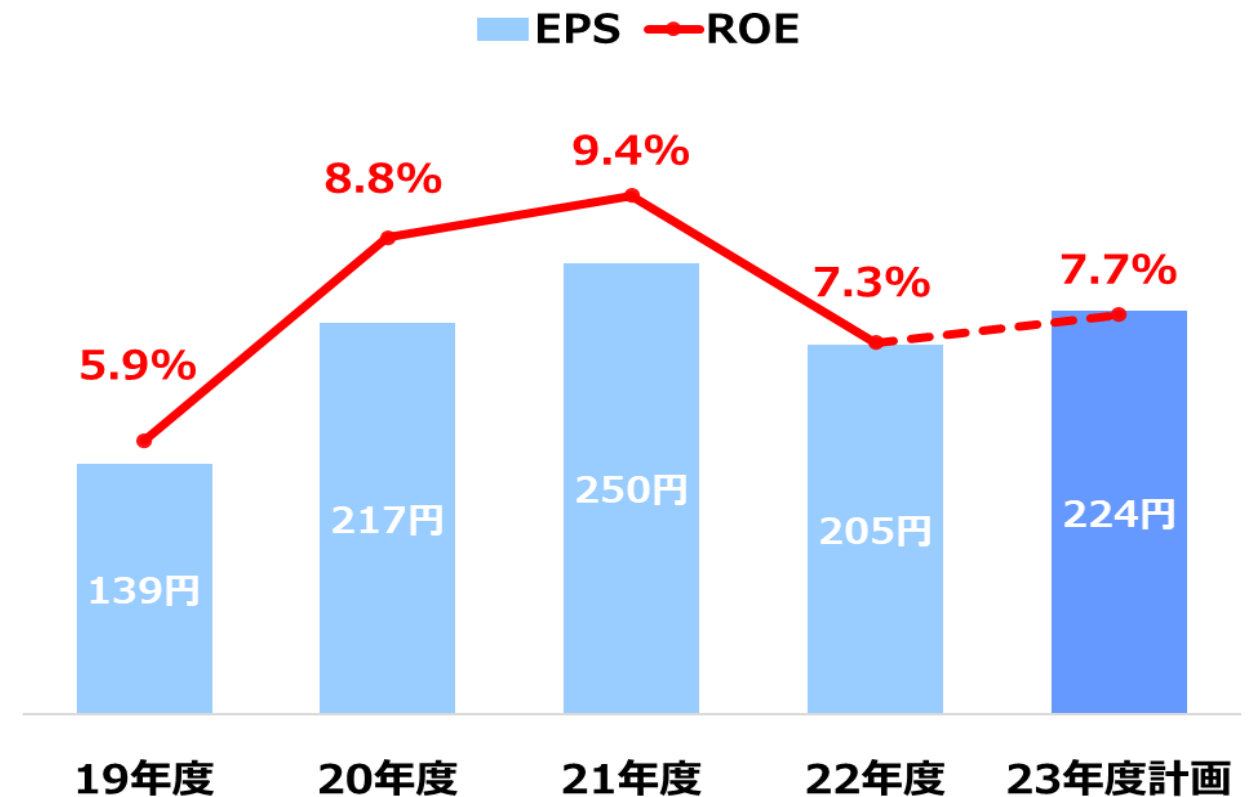


連続増配と継続的な自己株式取得により株主還元を充実
中期経営計画達成に向けて引き続き資本効率を意識した事業運営に取り組む

■ 総還元額



■ ROE・EPS



Engineering for Fusion

社会を繋ぐエンジニアリングをすべての未来へ

